

令和 7 年度 事業計画

基本理念：地域(みんな)で支えあう暮らしづくり

1、 基本方針

高齢化率約 4 6 %の知夫村では、少子高齢化の進行で、今後さらなる高齢者世帯の増加や現役世代の減少が見込まれる中、福祉サービスを維持していく事が重要となっています。 地域福祉を取り巻く環境や、物価高騰などの経済状況も大きく変化している中、指定管理事業や委託事業等を効率的に運営することに加えて、事業の見直しを行い、関係機関と協議しながら、持続可能な体制づくりに取り組めます。



社会福祉法人 知夫村社会福祉協議会

2、 拠点区分別重点目標

【法人運営】

- ・法人運営を安定させるため、財源の確保と人材確保を行うとともに、資格取得支援を行う。
- ・事業内容の見直しを行い、持続可能な事業運営に取り組む。
- ・社会福祉協議会の活動を幅広く村内外の方に周知し、福祉活動への理解と関心を深める。

【地域福祉活動推進】

- ・SNS や広報で共同募金の普及啓発を図り、理解を深める。
- ・地域活動や交流会などへの参加を促し、村民が健康でいきいきとした生活が続けられるよう支援する。
- ・小中学校等と協働し、日常的に福祉活動を推進できるよう連絡調整、企画立案を行う。

【指定管理事業(招福苑居住部門)】

- ・利用者が安全で快適に過ごすことができ、かつ職員の動線を確保した環境を整えるため、苑内外の環境整備を行う。
- ・居住者の方の交流の場を提供し、個々の残存機能の低下予防に努める。

【介護保険】

地域密着型通所介護(デイサービス)

- ・利用者がゆっくりと安心して過ごせるよう空間づくりを行う
- ・利用者の気持ちに不安がないか、体調に変化がないか気を配り、1 日を健康的に過ごせるよう支援する。
- ・安心、安全な送迎の為に車輜整備を行う。
- ・利用者 1 人 1 人に合ったレクリエーションやレク用品を充実させる。

訪問介護(ホームヘルパー)

- ・多職種で情報共有し、利用者の変化に対応する。
- ・地域への訪問活動が円滑に行われるよう体制整備及び車輜整備を行う。
- ・残存機能を見極めながら社会的役割を奪わないように配慮して、適切な訪問サービスを提供する。

居宅介護支援(ケアマネージャー)

- ・ご本人、ご家族の状況(意向、ニーズ、環境、金銭面)をしっかりと把握し、その方の状態にあった適切な住まい及び支援の提案を行う。
- ・離島生活のリスクも含め、いざと言う時に焦ることのないよう、先を見据えた支援を行う。
- ・地域課題に迅速に対応するため、関係機関(福祉、医療、行政など)との情報共有及び対策会議を密に行っていく。

【村委託事業】

配食サービス事業

- ・高齢者の栄養管理のためのバランスのとれた食事の提供と、季節料理、郷土料理、イベント料理等を取り入れ、食を通して日々の生活の楽しみに繋げる。
- ・配達時に、利用者の方とのコミュニケーションも大切にしていく。
- ・働きやすい環境づくりを行う。

自立デイサービス事業

- ・レクリエーションを充実させ、利用者同士も楽しくコミュニケーションがとれるよう支援する。
- ・季節ごとのイベントなどを企画し、1日を通して楽しく過ごせるよう努める。

生活支援体制整備事業

- ・各地区のサロン活動が円滑に運営できるよう、レクリエーション用品の貸し出し事業やサポーターさんの支援を行う。

認知症対策総合支援事業

- ・認知症になっても、その人らしく生活ができるよう、本人や家族の支援を行うとともに、地域住民への普及啓発を行う。
- ・早期に関係機関へ繋ぐことができるよう、相談窓口の周知を図る。